

北九州市・八幡自動車学校・JAFが協力

北九州地区

福祉車両安全運転講習会開催

(有)クルーザーガレージ

福祉車両の改造・販売を専門に行う(有)クルーザーガレージ(北九州市八幡西区、布施 光浩社長)は、2月11日13時より八幡自動車学校(北九州市八幡西区御開 3-38-1)にて、自立支援及び安全運転に向けた福祉車両の「ドライビング講習会」を行った。

【より安全な福祉車両運転のために】

当講習会は、さまざまな介護サービスを受ける高齢者や障がい者が、“より身近で、安心して”福祉車両を利用出来るように、各施設で普段、介護サービスに従事している人や障がい者の家族などを対象として実施。北九州市、八幡自動車学校、日本自動車連盟(JAF)福岡支部の協力の下、講習費は無料であった。

今回は、市内の老人介護施設に従事する人を主体に女性4名、男性5名が参加。このような講習会は過去、北九州市内でほとんど開催されたことはなく、皆興味をもって講師の話の聞き、目で確かめ、用意された各種福祉車両の扱い方や運転の仕方を教わった。

【送迎用リフト車の基本操作】

(有)クルーザーガレージの布施社長が、送迎用リフト車を使って車いすリフトの安全操作について説明。車いす固定の基本操作、シートベルトの安全な装着方法やトラブル時の対処法など。

【実車を使った安全運転講習】

その後、JAF福岡支部のスタッフ3名による講習が開始。特に送迎中の事故を引き起こす要因を中心に実技講習を行った。最初に軽自動車を使用して①死角(運転時及びボディの死角について、実際にドライバーが運転席に乗って見えない範囲がどのくらいなのか明らかになった)②運転姿勢・正しい運転操作(運転姿勢によってブレーキ力がどう変わるのか、ブレーキ踏力計で計測、正しいハンドル操作など)③内輪差(ワゴン車と軽自動車の2つの車両を使用し、実際の内輪差の発生を目で見て体験。ホイールベ



